

考えるを楽しく

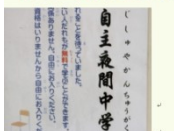
「フリースペースと夜間中学の経験, そして教育実践から」

主催: NPO 法人まなびクラブ・リクウェイ, 後援: 深谷市教育委員会・生涯学習スポーツ振興課



「元当事者が語る, 不登校・ひきこもりの若者への関わり方」

佐藤真人 (NPO 法人 ぐんま若者応援ネット アリスの広場)



「夜間中学のこと, 学ぶということ」

野川義秋 (埼玉に夜間中学を作る会)



「生徒の自立に向けて 教育実践から」

吉田 勇 (中学校教員を経験して)

これまでわたしたちは会員と熱心な参加者に, また, 深谷市と深谷市教育委員会の支援に支えられ, 何よりも先生方による学校での生徒の知識のうえに「まなび講座」を提供してきました。この度の講演会はこれまでの講座に加えて考える楽しさを追求する場を提供する起点としたいと企画しました。みなさまのそして教育経験のあるみなさまのご支援をお願い致します。

講座参加者のみなさま

いつも「まなび講座」にご参加いただきありがとうございます。たった一人の参加者だった第1回目から今日までの2年半, みなさまに参加していただくことで続けることができました。「かがくのみち」, 「パズル」, 「プログラミング」によってこれからも「考える楽しさ」を共有したいと思います。

教育経験者のみなさま

まなび場開設にあたり, わたしたちは教育経験の豊富な皆さんの支援を何よりも必要としています。わたしたちの中には教育経験者もいますが圧倒的に少数です。経験不足です。皆様の経験と議論から一歩でも二歩でも再びの学びと個を伸ばす学びが前に進められることを願っています。どうかご支援をお願い致します。

学びに関心のあるみなさま

わたしたちは学びのための多くの先達を持っています。寺田は「科学がどんなにおもしろいか」をわからせたいといい, 柘植は強い頭が「大輪の花を咲かせることがある」といいます。最近の新井は読解力が理解のカギだとして「多読ではなく, 精読, 深読にヒントがある」といっています。考える楽しさもそこにあると思われまます。

寺田寅彦: 「科学」64巻473号, 柘植俊一: 「反秀才論」, 新井紀子: 「AI vs 教科書が読めない子どもたち」

参加費: 300円 (中学生以下無料, 当日集金します)

募集人数: 先着80人 (先着順), 申し込み不要

問合せ先: 080-4413-6951 または rikuway001@gmail.com

ホームページ <http://rikuway.org/>